

総合的な学習の時間と体育科「ゲーム」

パラリンピックと出会い、おもてなしを実践する

期待できる効果

●こんな子どもの姿を期待できます

- ・多様性を尊重し、誰とでも励まし合い支え合う子ども
- ・相手の立場に立って考え、喜ばせる子ども
- ・多様な人々と共に楽しむ方法を考える子ども

1 パラリンピック種目を体験してみよう

パラリンピックへの興味・関心が高まるように、総合的な学習の時間「だれもが関わりあえるように」（第4学年・福祉）の単元で、「パラリンピック」について調べ、学校のみならず、家庭へ発信するという学習をしました。また、その内容と関連させて、体育科「ゲーム領域・ゴール型」の学習でゴールボールの体験活動をする等、教科横断的に取り組みました。子どもたちは、初めて出会うゲームに興味を示し、積極的に運動に取り組み、楽しさを味わいながら運動に関わることができました。

2 パラリンピアンと交流しよう

運動への興味・関心が高まった機に、実際にパラリンピック「ゴールボール」の金メダリストを学校に招き、交流を図りました。パラリンピアンとの出会いに感動し、一緒にゲームを楽しむことで更に意欲的に運動に取り組み、共生の意識も高めることができました。

3 英国パラリンピックCEO（最高責任者）との交流

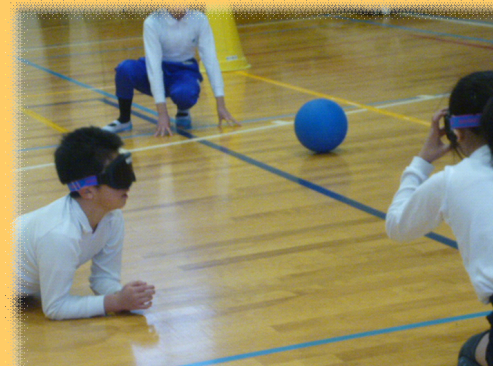
パラリンピックをより身近に、実感をもって理解できるように、英国パラリンピックCEOを招き、選手の思いやスポーツを支える人の思い等について交流をしました。子どもたちからは、多くの質問が出され、CEOの回答に興味津々でした。運動をする人の立場だけでなく、支える人について関心が高まっていきました。また、パラリンピックについて家庭で話をする子どもが増え、家族と運動やスポーツ、オリンピック・パラリンピックについて話をするきっかけをつくることもできました。

Check!

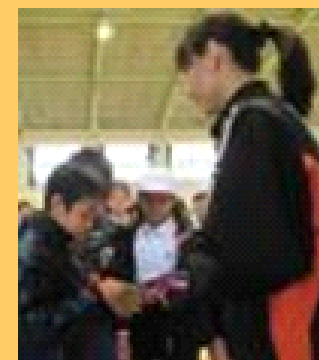
ココがポイントです！

- ①外国の方等のGTをお迎えする前に、喜んでもらえるおもてなしの方法を考えさせると効果的です。
- ②総合の福祉と体育科を教科横断的に取り組むと、それぞれのねらいを効果的に高めることができます。

ゴールボール体験の様子



パラリンピアンとの交流の様子



CEOとの交流



おもてなしの贈り物

